



# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 152

平成29年(2017)  
4月28日

主な内容

3月定例会のあらまし	2
平成29年度予算	2
代表質問	4
一般質問	6
各党派討論の内容	11
常任委員会の審査報告	12
議案採決結果	14
6月定例会予定	16

●シベリア抑留体験室等を整備する「引揚記念館整備事業」や障害者の就労を支援するための「舞鶴市障害者しごとサポートセンター運営事業費」、「保育士の処遇改善事業費補助」など、平成29年度当初予算総額632億5294万円を可決



駆け抜ける  
春の加佐ロード

(3月12日 ふるさと加佐ロードレースから)

# 3月定例会のあらまし

## ●働く場の創出企業立地促進条例の一部改正等を可決

新規企業立地の促進と既存企業の規模拡大のため、これまでの補助金の対象となる区域を拡大し、舞鶴市内全域とするもの

## ●山口副市長の選任について同意

◎舞鶴市議会は3月定例会を2月27日から3月28日までの30日間開催しました。市長提案の平成29年度当初予算、条例、人事など52議案について審議した結果、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。また議員提案の条例改正1件について可決、意見書1件を否決しました。請願3件についてはいずれも不採択としました。

## ●平成29年度 舞鶴市当初予算可決

■一般会計 345億7085万円 (対前年度比 4億7076万円、1.3%の減)

■特別会計 286億8209万円 (対前年度比 12億3160万円、4.1%の減)

【うち公営企業会計】 計39億8139万円 (対前年度比 6億7832万円、14.6%の減)

■総額 632億5294万円 (対前年度比 17億236万円、2.6%の減)

平成29年2月27日の本会議において市長から、平成29年度予算は厳しい財政状況を踏まえ、経常経費の削減など、持続可能で安定的な財政運営を堅持する中で、この6年間の取り組み実績を生かし、移住・定住の促進、子育て環境の充実、歴史・文化の振興、京都舞鶴港を活用した地域産業の振興等、舞鶴版・地方創生の実現に向けたまちづくりの重点事項を戦略的・積極的に推し進める予算編成であること。

あるまちづくり」に基づく施策の概要について説明を受けました。最終本会議での採決の結果、平成29年度の一般会計、病院事業会計、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計の5件の予算は賛成多数、その他13件の予算は全員賛成により可決されました。

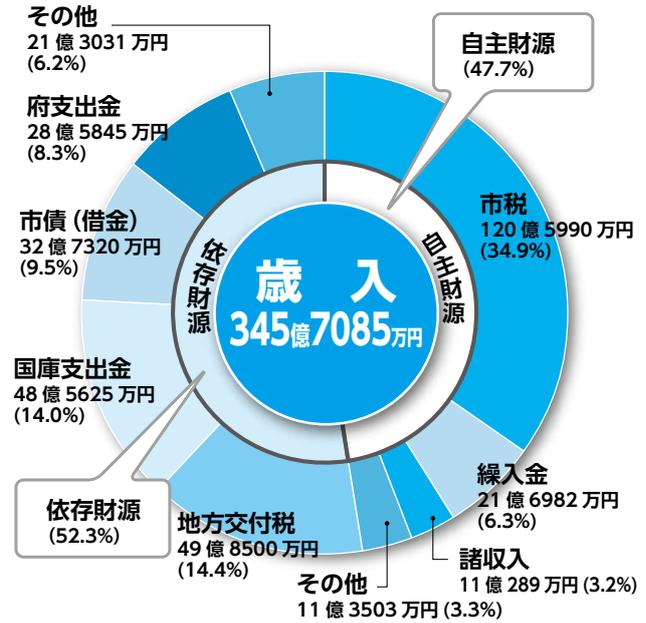
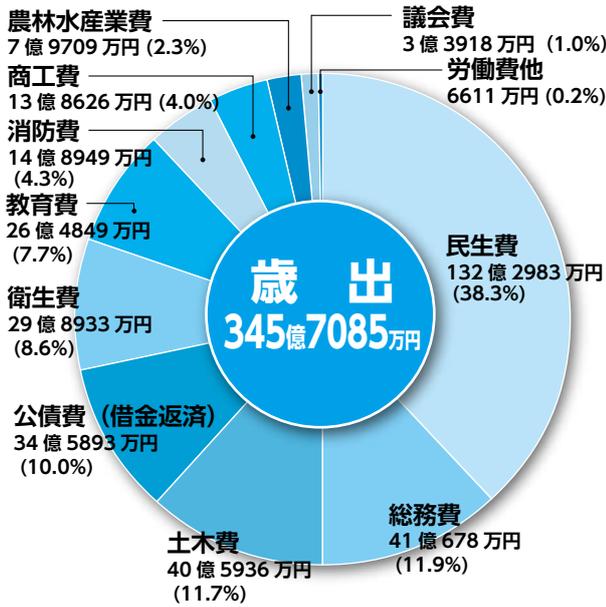


平成29年2月27日の本会議において市長から平成28年度一般会計補正予算(第6号)について、今年1月からの大雪によるパイプハウスの倒壊等被害が発生していることから農業者の営農再開に向けた農業生産施設緊急復旧対策事業費補助金や道路除雪対策事業など6900万円を追加するものであることの説明を受け、迅速な復旧支援を行うため本会議初日となる2月27日に全員賛成で可決しました。

また、一般会計補正予算(第7号)について引揚記念館の収蔵庫及び企画展示室を増築する整備事業費など5億775万円の増額を行うものであり、その結果平成28年度の一般会計の総額は369億5949万円となる事業の概要について説明を受け、3月28日の最終本会議において全員賛成で可決しました。

●平成28年度一般会計補正予算を可決

## 一般会計予算



### まちづくりに係る主な事業

#### ●心豊かに暮らせるまちづくり

(拡大) 引揚記念館整備事業	7850万円
(新規) 日本遺産プロモーション事業	728万円
(新規) まちなか暮らし推進事業	560万円
(新規) 保育士の処遇改善事業費補助	2208万円
(新規) 学習支援事業	324万円
(継続) 小中一貫教育推進事業	716万円

#### ●安心のまちづくり

(新規) 成年後見センター運営事業	731万円
(新規) 障害者しごとサポートセンター運営事業	497万円
(新規) 養護老人ホーム整備事業費補助	2億700万円
(新規) 次期最終処分場整備事業	5749万円
(拡大) 西地区浸水対策事業	4261万円

#### ●活力あるまちづくり

(新規) 整備新幹線誘致推進費	100万円
(拡大) 6次産業化推進事業	600万円
(拡大) 京都舞鶴港クルーズ推進事業	2180万円
(拡大) 企業誘致実現プロジェクト事業	4281万円

### 特別会計予算

会計区分	29年度	28年度	伸び率
国民健康保険事業会計	103億3402万円	104億4316万円	-1.0%
簡易水道事業会計	4億6346万円	9億8050万円	-52.7%
土地建物造成事業会計	平成28年度末 会計廃止	358万円	皆減
貯木事業会計	217万円	103万円	110.7%
下水道事業会計	40億8220万円	44億9878万円	-9.3%
駐車場事業会計	4776万円	4781万円	-0.1%
介護保険事業会計	85億4930万円	81億2032万円	5.3%
保険事業勘定	85億4233万円	81億1412万円	5.3%
介護サービス事業勘定	697万円	620万円	12.4%
後期高齢者医療事業会計	12億2179万円	11億5880万円	5.4%
公営企業会計	39億8139万円	46億5971万円	-14.6%
水道事業会計	29億7780万円	36億1752万円	-17.7%
病院事業会計	10億359万円	10億4219万円	-3.7%
合計	286億8209万円	299億1369万円	-4.1%

平成29年3月8日、本会議を開き、5人の議員が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

平成29年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

平成 29 年 3 月 8 日

順番	会派名及び氏名	質問事項
1	創政クラブ議員団 林 三弘	1 平成 29 年度の市政運営について
		2 3つのまちづくりの重点事項について
		3 有害鳥獣対策について
		4 教育問題について
2	公明党議員団 杉島 久敏	1 「地域づくり支援」について
		2 地域医療の充実について
3	鶴翔会議員団 亀井 敏郎	1 京都府北部地域連携都市圏について
		2 舞鶴市が取り組む観光施策について
		3 移住定住促進対策について
		4 由良川水防災対策について
		5 道路整備について
		6 地域公共交通網の整備について
4	新政クラブ議員団 水嶋 一明	1 連携都市圏について
		2 心豊かに暮らせるまちづくりについて
		3 安心のまちづくりについて
		4 活力あるまちづくりについて
5	日本共産党議員団 伊田 悦子	1 来年度予算案について
		2 地方創生とまちづくりについて
		3 原発再稼働許さず原発ゼロの社会をめざすことについて
		4 市民に開かれた市政について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



教えることに専念できる環境を

**質問** 有害鳥獣による被害は激増している。府の鳥獣管理計画の見直しを働きかけ抜本的解決策を考えるべきと考えるが、いかがか。

**答弁** 27年度は過去最高の捕獲数を記録したが、被害の低減につながっていない。このため、国府において、シカ、イノシシ、ニホンザルの生息頭数などの半減やツキノワグマの捕獲上限数の引き上

有害鳥獣対策の変更を  
国府に働きかけを



創政クラブ議員団  
林 三弘

げなどを図る次期計画を策定中であり、市としても当該計画に基づき捕獲の強化に努める。

**学校教職員の公用車対策を**

**質問** 教職員の市内出張は私用車が現状。事故でもあれば個人の責任となり、頑張り先生ほどリスクが生じる。先生が教えることに専念できる環境を整備すべきであり、校長許可によるみなし公用車制度が考えられないか。

**答弁** 全国的に教職員が公務に私用車を利用して利用しているのが現状であり、本市も同様である。ご指摘のように、一定の条件のもと私用車を登録することにより公務出張できる制度の導入に向け準備を進めたい。

平成29年3月8日、本会議を開き、5人の議員が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

地域づくり支援課の  
取り組みを問う



公明党議員団  
杉島久敏

**質問** 「地域づくり支援課」設置から約1年、「心豊かに暮らせるまちづくり」の目的達成に向けて各地域から寄せられた課題に対し、どのように対処してきたのかを問う。また、社会活動を通し、

これからの「地域づくりの担い手となる人材の育成」をもって地域コミュニティや舞鶴市発展に資するという目的であるかと理解するが、さまざまな課題に対し、今後どのような取り組み方針で臨まれるのかを問う。

う、地域特性に応じた支援を進めている。「人材の育成」に関しては大変重要と考えており、市内の中学校に赴き、一人でも多くの若者に、この地域を愛し、活躍する人材に育って欲しいとの願いから「ふるさと舞鶴講義」を開催するなど、ふるさと舞鶴を担う「志」を持った人材の育成に全力で取り組む所存である。

**答弁** 地域活動の担い手不足が大きな課題であること認識しており「自助」「共助」「公助」が最適なバランスで機能するよ



心豊かに暮らせるまちづくり

最重要施策位置づけ  
「移住・定住促進」



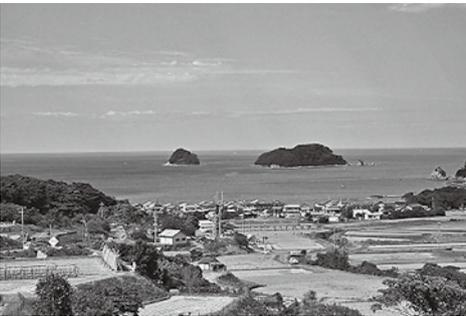
鶴翔会議員団  
亀井敏郎

**質問** 移住者自らがリピーターとなつて、舞鶴の良さを発信できる仕掛けが有効と考え

る。市の認識を問う。

**答弁** 移住された方々の暮らしの様子や、生活する中での実感を動画サイトにおいて発信し、首都圏・中京圏・関西圏にお住まいで移住に興味のある方々、1万人を対象に映像を見てもらおう取り組みなどを進めている。

**質問** 受け入れ環境の充実も大事だが、移住後の支援体制もさらに重要と考えるが、市



移住するなら自然豊かな舞鶴へ

の見解を問う。

**答弁** 地域に住み続けたいとの思いを大切に、伝統文化の担い手確保やコミュニティの継続を支援していく。

**質問** 市は移住定住促進を最重要施策と位置づけている。今後の意気込みを尋ねる。

**答弁** 企画政策課に担当課長を配置し、施策全体の調整、進行を管理し、迅速かつ戦略的に「移住・定住促進」を推進するとともに、全庁的に取り組んでいくこととしている。

保育士の確保と  
幼児教育の充実は



新政クラブ議員団  
水嶋一明

**質問** ①各保育所は保育士不足に悩まされている。その人材確保にどう取り組むのか。

②幼児教育アドバイザーなどの配置や環境の整備・充実に向けての方向性を尋ねる。

**答弁** ①保育の質の向上を図るため、今年度から保育士の処遇改善事業を行い、保育士の資質の向上、離職低減につなげる。

②平成31年度に開設予定の公立認定こども園に乳幼児教育の拠点となる乳幼児教育センターを併設、乳幼児教育の機能強化を図る。

企業誘致の取り組みは

**質問** 京都舞鶴港機能強化や高速道路ネットワークの完成は企業活動

に追い風となる。企業誘致の取り組みは。

**答弁** 新規立地や既存企業増設時の優遇補助制度上の対象区域を市内全域に拡大する。また、電気料金の約4割を最大8年間助成する本市特有の優遇制度や、ジョブ・サポートまいづるを拠点とした国・府・市が一体となった就職支援、雇用の確保を広くアピールし、企業から選ばれるまちの実現に取り組む。



子育ての拠点 あそびあむ

平成29年3月8日、本会議を開き、5人の議員が代表質問を行いました。  
平成29年3月9日、10日、本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 代表質問・一般質問

### 観光偏重行政から 市民生活応援の行政へ



日本共産党議員団  
伊田悦子

#### 質問 来年度予算案

は、市税収入の減少から必ずしも観光が市民所得の向上に結び付いていない。しかし、観光・港湾振興に重点が置かれた予算案。観光客頼みでなく、循環型で地域経済を再生させ、市民所得の向上を図り税収増につなげることが重要だがどうか。

#### 答弁 交流人口の拡大をはじめ、企業誘致による地域経済の活性化や雇用の増加、事務の効率化等による歳出の削減が、重要と認識。

再稼働容認で市民守れない  
質問 福島原発事故から6年経過。事故の検証・健康と生活への影響の検証・安全な避難計画の作成もできていない。この状況のなかで再稼働容認の姿勢は無責任きわまりない。現在と未来の市民の命と健康に責任もつ市長として、再稼働容認姿勢をあらため再稼働反対を表明すべき。

#### 答弁 安全なものしか動かしてはならない

避難計画については終わりがないと考える。市民を守るのは市と肝に銘じ、今後も国・府の支援を受け訓練などを実施していく。

再稼働容認で市民守れない  
質問 福島原発事故から6年経過。事故の検証・健康と生活への影響の検証・安全な避難計画の作成もできていない。この



高浜原発3・4号機

## 平成29年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

平成29年3月9日、10日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	松岡 茂長	1 安定ヨウ素剤の備蓄及び事前配布について 2 舞鶴の医療問題について 3 障害者に関するマークについて
2	一問一答	後野 和史	1 舞鶴の地域医療の現状について 2 後期高齢者医療の特例軽減措置の廃止について 3 市長の整備新幹線誘致の姿勢について 4 マイナンバーを記載した税通知書について
3	一括	上羽 和幸	1 ICTの活用と推進について 2 食品ロス削減について
4	一括	福村 暉史	1 組織改編について 2 舞鶴市のインフラ整備等における府・市協調について 3 本市教育の充実について 4 安岡園について 5 保育士について
5	一括	高橋 秀策	1 教育について 2 整備新幹線について 3 水道事業及び下水道事業について 4 第1期公共施設再生実施計画について 5 いきいき健康づくり推進事業について 6 クルーズ客船について
6	一括	西村 正之	1 自衛隊舞鶴基地の貢献度について 2 海を活かした観光のPRについて
7	一問一答	田村 優樹	1 広域都市連携について 2 旧市民病院跡地利用について 3 小中一貫教育について
8	一問一答	小杉 悦子	1 原子力災害避難計画と安定ヨウ素剤の事前配布について 2 高齢者福祉について 3 教育について
9	一問一答	松田 弘幸	1 赤れんが周辺等まちづくり構想について 2 旧市民病院跡地利用の進捗状況について 3 次代を担う子どもの安全・安心について
10	一括	今西 克己	1 京都府庁知事部局の移転設置について 2 安全・安心なまちづくりについて 3 整備新幹線について 4 海上保安学校について
11	一問一答	肝付 隆治	1 京都府北部地域連携都市圏について 2 舞鶴市まち・ひと・しごと総合戦略について
12	一括	石束 悦子	1 働く貧困層について 2 奨学金について 3 学校給食について
13	一括	小谷 繁雄	1 障がい者支援の充実について 2 学校における教育環境の充実について
14	一問一答	眞下 隆史	1 発達障害の取り組みについて 2 中学校のクラブ活動について 3 中高連携の取り組みについて 4 地域が望む大学卒業生人財の確保について
15	一括	尾関 善之	1 伊佐津川の整備について 2 西地区の浸水対策について 3 29年度最重要施策の一つのまちづくりについて 4 保育士等の処遇改善事業について 5 観光振興について 6 リサイクル率向上について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一 括 … 質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式  
※一問一答 … 質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

平成29年3月9日、10日、本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 一般質問

## 安定ヨウ素剤は 事前配布をすべき



鶴翔会議員団  
松岡 茂 長

**質問** 甲状腺がんにかかりやすい幼い子どもたちを預かる施設では、安定ヨウ素剤を備蓄する動きが全国的に広がっている。舞鶴市も保育所などに備蓄を広げるべきだ。また、本市と条件が類似の茨城県ひたちなか市の市長は、「原発事故発生

後に、安定ヨウ素剤を全ての市民に配布することは困難」と判断し、事前配布に踏み切った。本市でもこのような判断はできないのか。

**答弁** 安定ヨウ素剤は避難時集結場所などでの配布となるが、今後とも備蓄場所の拡大も含め京都府と協議し

## 子どもの医療を守れ 小児科医確保に全力を



日本共産党議員団  
後野 和 史

**質問** 舞鶴赤十字病院小児科医の退職による4月からの休診で、京都府に医師確保を要望したのか。党議員団は府に要望したが、「市から要望はない」とされたが、市長は「地域医療の早期解決を図った」とはよく言えたもので、救急や患者受け

入れに影響することから、小児科医確保の公的責任の発揮を求める。  
**答弁** 一義的には舞鶴赤十字病院での対応が必要で、救急体制維持のために府に要望していく。

## 母子の命守る公的責任を

**質問** 医療センター

ていく。また、事前配布については、国の原子力災害対策指針に基づき対応とする。

## 小児科医師の確保を

**質問** 医師確保は市にも責任がある。舞鶴赤十字病院の小児科医師確保に、市としてどう取り組むのか。

**答弁** 救急輪番体制の維持のため、非常勤医師の確保に向け、全力で取り組んでいる。

がリスクのある母子を受け入れる府北部の周産期サブセンター機能を十分果たせるよう、産科医確保に全力をあげるべきではないか。

**答弁** 新専門医制度も踏まえ、関係病院で協議し、母子を含む周産期医療の集約化に向けた検討が必要になる。市は産科医を含め地域に不足する医師確保を府立医大にも要望している。

## ICT利用環境の 充実を



公明党議員団  
上羽 和 幸

**質問** 市民や舞鶴を訪れる人から、スマートフォンなどデジタルデバイスの利用環境の向上が求められている。安心安全な無料Wi-Fiの充実が「おもてなし」になると考える。また携帯端末の充電スポットの整備も検討するべきだと考えるがどうか。

**答弁** 「KANSAI Free Wi-Fi」への対応など利便性向上を図り、充電スポットは先進地を参考に検討したい。

**食品ロスの削減を**  
**質問** まだ食べられる状態であるのに捨てられている「食品ロス」は日本では年間

632万トンと推計され、世界の食糧援助量の約2倍に相当し、削減は喫緊の課題だ。  
①環境省が取り組む「30・10」運動の啓発  
②本市の災害備蓄食品を消費期限内にフードバンクなどへの寄付を検討していただきたいがどうか。

**答弁** ①30・10運動は市民にお願いし、市役所も取り組みたい②有効活用を検討したい。

## 保育所の入所状況と 保育士確保は



新政クラブ議員団  
福村 暉 史

**質問** 本市においては、待機児童ゼロを目標に掲げている中で、保育士が不足しているという声も聞くが現在の入所状況は。また、保育の質の向上をめざすためには保育士の確保が重要となってくる。具体的にどのような取り組みなのか。保育人

材の確保として処遇改善は重要な施策の一つであると考えるが、一方で多数存在するときれている「潜在保育士」の復職に向けた取り組みも有効であると考え。本市の見解は。

**答弁** 本市は公立3施設、民間12施設、合計15の保育所があり、

28年度末の入所児童見込数は1626人で、10年前と比べ150人の増加となっている。また、保育士に対し、国の入所円滑化対策の特例措置により29年度は月額6千円の賃金加算などが予定されており、本市においても月額8千円の加算を実施し、保育士確保につなげていきたい。

平成29年3月9日、10日、本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 一般質問

### 学力日本一を 目指そう



創政クラブ議員団  
高橋 秀策

**質問** 学力の高さで定評のある福井県での1年間の教員派遣を、どのように学力向上につなげていくのか、また、今後の学力向上対策について尋ねる。

福井県の教育内容や仕組みなど導入すべきところを取り組む。来年度も教員の長期派遣研修事業は継続し、中小一貫教育の推進など、様々な取り組みを進めていきたい。

**答弁** 研修終了後において、本市の指導的な教員として、教員全体の指導力向上に努め、

**質問** 整備新幹線の誘致を

北部地域への誘致に向けてどのような取り組みをしていくのか尋ねる。

**答弁** 北部地域の重要性、日本海側国土軸の形成による日本海側地域の発展、リダンダンシーの確保などについて国益の観点から強く訴えていく。また、整備新幹線誘致担当課長を配置して、府北部、山陰地方との連携を図り、国への要望活動などを積極的に実施する。

### 将来に負担を残さない 跡地利用を



鶴翔会議員団  
田村 優樹

**質問** 旧市民病院の跡地利用は、あり方懇話会の付帯意見である「将来に負担を残さない」という文言を重視すべきである。住民集会や懇話会の意向は、住民の願いであり希望であることから、人口減少や市財政の状況をシビアに検討すること

が求められるが市の見解を問う。

**答弁** 将来の舞鶴市を担う子どもたちにも大きな負担を残さないことが重要であると認識している。行政負担の軽減も検討する。

**質問** 平和教育は広い視野で  
全国的自治体

が派遣する平和使節団に「青少年ピースフォーラム」という活動団体がある。未来を見据えた平和学習や意見交換により、平和意識の高揚が図られることから、本市の青少年たちを派遣してはどうか。

**答弁** 子どもたちが平和の尊さと命の大切さについて意見交換することは重要である。フォーラムへの参加は今後研究をする。

### 舞鶴基地隊員による 舞鶴への貢献度は



会派に所属しない議員  
西村 正之

**質問** 本市の人口減少が進行する中で、自衛隊舞鶴基地の約3600名の隊員数はほとんど変わらず、むしろその比率は高くなっており、人口減少の歯止め役としての貢献度は大きなものがある。

各教育隊における修業学生において、舞鶴地区に配属された隊員は142名であり、新たな舞鶴市民が誕生している。舞鶴市として、改めてこれらの状況について、どのように認識しているのか問う。

への貢献度に対する認識について、自衛隊員の皆様には、地域社会の安心・安全の確保などに多大なご尽力をいただいていることから、市としては、今後とも舞鶴市民が自衛隊に寄せる信頼や理解を基礎として、海上自衛隊とのさらなる共存関係の充実に努めたい。

**質問** 国の指示で本市は、PAZとそれに準じる地区での安定ヨウ素剤を事前配布された。平常時の安定ヨウ素剤での事故にかかわっては、その責任は国と、安定ヨウ素剤を事前配布した本市にも、明確にあると考えるが市の考えを問う。

### 安定ヨウ素剤事前配布 市の責任で実施を



日本共産党議員団  
小杉 悦子

**答弁** 国の原子力防災指針に基づき配布をしたもので、当然国が対処すべきものと考えている。

**質問** 1月の大雪で大きな被害にあった。高齢者世帯の雪かき作業での「軽度生活支援」

の制度があるが、必要とする市民にしっかりと提供できない状況だ。市として改善が必要と考えるがいかがか。

**答弁** シルバー人材センター、民間事業者、住民同士の助け合いなどで対応している。



ケアマネさんが開けてくれた一人分の通路

平成29年3月9日、10日、本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 一般質問

#### 住んでよし、訪れてよしの舞鶴を



公明党議員団  
松田 弘幸

**質問** 赤れんが周辺等まちづくり構想で満足度の向上とリピーターを増やす上で、トイレの改善は重要であり、駐車場を含めパーク内のトイレ整備が必要である。また、赤れんがパーク周辺駐車場の混雑を防止するため、機能移転が予定されている

る文庫山学園施設の跡地も含めた利活用について問う。

**答弁** トイレ整備の必要性を認識している。駐車場対策は基本計画の中で検討する。また、にぎわい創出のため必要な飲食、物販、宿泊などの機能を文庫山学園移転後の施設などに

整備していきたい。

#### 子どもの安全・安心

**質問** 子どもたちの安全確保のため、通学路の安全対策や学校内の不審者対策として、赤外線センサーの取り付けや防犯カメラ設置の考えはないか問う。

**答弁** 通学路の安全対策を推進するとともに、犯罪抑止効果の高い場所から防犯カメラの設置を検討したい。

#### 北部地域連携都市圏の総合戦略はいかに



創政クラブ議員団  
肝付 隆治

**質問** 国が推進している連携中枢都市圏構想では、地方自治法で事務処理の基本的な方針や役割分担を記載した連携協約と中長期的な将来などを記載した連携ビジョンの作成が義務づけられている。京都府北部地域連携都市圏では義務規定はな

いが同様の検討は必要であり、今後、総合戦略として作成する場合の方針を問う。

**答弁** 北部地域連携都市圏形成の目的は、京都府北部地域5市2町が多様な連携の中でウイン・ウインの関係を築くことに重点を置き、水平的な連携のもとで

#### 京都府知事部局港湾課の移転誘致は



新政クラブ議員団  
今西 克己

**質問** 昨年9月定例会の答弁に基づき再質問する。山田知事は今定例会で府庁にある港湾課を京都舞鶴港がある舞鶴市に本年4月に移転し現地にある府港湾事務所と一体化して「港湾局」を新設すると答弁されたがその規模、執行体制を問う。

**答弁** 山田知事は港湾政策の立案機能と現場機能の一体化を図るため、港湾課を舞鶴市に移転させ、港湾事務所と一元化し、貿易振興を担う海外経済課の職員を配置される。

#### 海上保安学校への思い

**質問** 舞鶴市、舞鶴

市議会は、昭和26年4月、海上保安学校を舞鶴に誘致し、今日に至っているが、同校への思いと、周辺環境整備について問う。

**答弁** 崇高な使命感を抱き全国各地から入学された学生の皆さん、心血を注がれる教職員の皆さんに、この地舞鶴を第二の故郷と感じていただけるよう、周辺環境の整備をはじめ、最大限の支援に努める。

#### 働く貧困層に対し土日、夜の相談窓口を



日本共産党議員団  
石 束悦子

**質問** 子どもがいる貧困世帯のうち、一人親世帯の貧困率は54.6%と非常に高い。長引くデフレ経済下で、子育て世帯の所得が減少したこと、働く母親の多くが非正規雇用であることも影響している。夜も働き、子どもだけで留守番をし病氣

になることも多いと聞く。就業自立支援事業を府県と共同実施している自治体は11あり、電話での相談窓口を作るべきでないか。

**答弁** 労働基準監督署の窓口につないでおり市に作る予定はない。

#### 小・中学校の給食費無償に

**質問** 全国で給食費を無償にする市町村が62になった。教育基本法・学校給食法では健康な体づくりを、憲法26条では義務教育は無償とうたっている。アンケートをとるなどして検討してはどうか。

**答弁** 要保護、準要保護世帯の児童、生徒には支援を行っており、給食費の無償化は考えていない。

平成29年3月9日、10日、本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 一般質問

### 障がい者就労支援のさらなる充実を



公明党議員団  
小谷 繁 雄

**質問** 障がい者の一般就労支援における取り組みの成果と今後の方向性について、また、福祉事業所での就労による、物品販売の支援事業について問う。

**答弁** 障害者の方々の企業就労に向け個別の相談支援により、就業された方も順調に増

加している。市直営の「舞鶴市障害者しごとサポートセンター」を設置してのさらなる支援と、事業所の物品販売については、インターネットを活用し、販売促進を支援していく。

**質問** 学校の教育環境の充実を

### 中学生クラブ活動 笑顔で活躍を期待



新政クラブ議員団  
眞下 隆 史

**質問** 舞鶴市内中学校の課題の一つに生徒数減少による部活動の多様種目維持ができないことがある。官民一体の部活動事業や市独自のまちクラブを実施してはどうか。

**答弁** 学校の実態に応じ地域や社会教育関係団体との協力など工

夫が必要。また指導方針の共有が最も重要と考える。合同部活動は日々の学校間移動や安全管理体制の問題があり慎重に判断していく。

**質問** 大学入試センター試験内容が変更されるが、中学校での学

中高連携の強化・充実を

の勤務時間は他国と比べても多く、専門スタッフを増員して負担軽減を図る「チーム学校」の必要性について問う。

**答弁** 教員からなるプロジェクトチームの検討の中で、勤務時間の適正化に向けノー部活デーなど具体的な対策に取り組みとともに、地域の方々の協力による「チーム学校」の推進など、教員の負担軽減が図れるよう努める。

**質問** 生徒にとって自分の将来を見つけ、目的を明確にし、希望する進路を自分の力で切り拓く意識を高める意味でも、各高校・高等専門学校等の協力のもと中学校での説明会を実施していきたい。

**答弁** 生徒にとつて

### 西地区の浸水対策は



創政クラブ議員団  
尾関 善 之

**質問** 高野川治水対策では、河川整備と高潮対策で実施される「下水道事業で行う浸水対策」の内容と今後の進め方について問う。

**答弁** 内水氾濫が著しい静溪川や大手川などと、高野川との合流部4箇所以内水排除ポンプを設置するほか、

雨水貯留施設を2箇所設置するとともに、流下能力が不足している水路の整備や河川への吐出口に逆流防止弁の設置を実施する。

**質問** 豊かな環境を次世代に引き継ぐため、ペットボトルなどの分

リサイクル率向上を

**答弁** 今年度新たな舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定しており、主要施策として現在の6種9分別を見直し、ペットボトルなどの分別を実施する計画としている。

議会を傍聴してみませんか

議会は誰でも傍聴することができます。

お問い合わせは  
市議会事務局へ ☎66-1060

ホームページからライブ中継も  
ごらんいただけます。

舞鶴市議会



3月28日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討 論



市立舞鶴市民病院

今定例会に提案された全議案のうち、第4号議案、平成29年度舞鶴市病院事業会計予算に反対の立場を表明し討論する。平成28年度の新市民病院の運営状況は、設立当初に示された試算表と大きくかけ離れ赤字経営である。

収支計画のあまさを指摘する

鶴翔会議員団  
田村 優 樹



この実態から、療養病床100床を有する単独病院という特性上、収入に上限があり、最大限の努力をしても恒久的に赤字が続くと判断し、市からの補助金繰入で収支の均衡を図る運営方針に収支計画の転換が図られている。

市民病院は看取りが主だ

また、市民病院の役割は、急性期から在宅への「橋渡し」的な役割であるとの説明であったが、平成28年度の実績、総退院数では115名の患者に対して69名が死亡退院、さらには、平均年齢79歳という状況から高齢者の多さが分かる。在宅復帰を目指すというより看取りが主のようであり、市は、本来の使命に照らし、市民病院のあり方、経営見直しを明らかにし、市民が十分納得のいく説明責任を果たすべきである。

観光・子育て支援施策の予算を評価

創政クラブ議員団  
伊藤 清 美



全議案に賛成の立場で討論する。地域の現状を正確に把握した中で明確な目標を掲げ、効率的な市政運営を高く評価する。新年度の外航クルーズが過去最高となる約40回の寄港が予定され、舞鶴港発着の周遊クルーズが32回寄港するなど外航クルーズの定着化に一層弾みがつく。そのためにも市民による歓迎ムードを高め、万全な受け入れ態勢が今後のクルーズ船誘致に影響することから、迅速かつ戦略的な取り組みに期待す



市民によるクルーズ船のおもてなし

る。本市の合計特殊出生率が「1・93」と高水準にある。この要因は、妊娠から出産、子育てと切れ目のない子ども・子育て支援施策により、安心して子どもを産み、育てる体制ができていく。「子どもなんでも相談窓口」の設置など子育ての悩み、児童虐待の発生予防を図る相談等の充実、保育士不足の解消のため国の支援策に加えて市独自の処遇改善の取り組みを高く評価。

観光・港湾優先から暮らし優先の予算に

日本共産党議員団  
石 束 悦 子



一般会計予算は市税や消費税交付金、国・府支出金が減少、財源不足を財政調整積立金等から14億円の繰り入れで確保しているが、地方創生交付金は観光・港湾、移住・定住促進等を重点、不確かな整備新幹線誘致費の計上等、厳しい市民生活を優先しないもので認められない。

「医師確保は各病院の責任、小児科や一人診療科のセンター化を図る」との市長の姿勢は公的責任を果たすものではない。

小中学校給食の無償化、独自学力テスト、日星高校進学コースへ



小児科診療が待たれる舞鶴赤十字病院

の補助の見直しを求めたが応えなかった。国が保育士の給与改善に月6千円助成するが、市が月8千円を上積みすることは評価する。

後期高齢者医療会計は特例軽減措置を廃止し、負担増を押し付けられるもの、介護保険会計も要支援1・2を保険から外し、事業化するもの、国保会計では基金の活用や一般会計からの繰り入れで高すぎる保険料引下げを求めたが応えず反対する。

3月28日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。本会議において付託された議案を5常任委員会において審査しました。  
 予算決算委員会（付託議案19件）

## 討論 常任委員会の審査報告

### 創意工夫の施策で まちづくりを推進



公明党議員団  
小谷 繁雄

平成29年度舞鶴市一般会計予算は、前年度に比べ4億7076万円、1・3%減の予算額となり、財政調整基金から、14億8570万円の繰り入れとなるが、29年度には、基金の減額が最小限に留まることを望む。市長は、まちづくりの重点項目として、少子高齢化や人口減少を見据えた、「移住・定住促進」の取り組み、子ども何でも相談窓口の充実、小中一貫教育の充実と不登校児童への対応やいじめ対策など、「ひとを育てつなぐ」



「ひとを育てつなぐ」取り組みを

### 慢性期医療を担う 市民病院事業を評価



新政クラブ議員団  
和 佐 谷 寛

とを育てつなぐ」取り組みのほか、障害者サポートセンター、成年後見センターの設置、高野川河川計画の推進など、市民が望む施策に期待する。舞鶴版地方創生の実現には、将来に向け「知力」と「想像力」をもって、アイデアを創出し、具体的な事業の展開で、地方創生の確かな基盤づくりを望む。また、新たに組織改編される「市長公室」と「政策推進部」が、政策推進機能の強化となり、まちづくりの推進となることを期待し賛成討論とする。

上程された全議案に賛成し討論する。市民病院は100床に特化した慢性期医療並びに、加佐診療所の訪問診療等地域医療に貢献してきている。一般会計からの繰入金は、病院事業では1億5600万円、平成27年度決算での交付税措置1億3250万円をベースにする

すると、実質の持ち出しは2350万円となる。市民病院が療養病床に特化される前の毎年10億を超える一般会計からの持ち出しと比較すると隔世の感がある。病床率も90%を確保し慢性期医療を担い、他の公的3病院と連携することで、地域医療の充実に貢献しており高く評価する。



医療の充実に貢献

#### 移住定住環境の拡充を評価

空き家の提供の推進や、地域での受け入れを支援し、地域の担い手の確保や農村の活性化を図り、農村地域への移住・定住の促進に取り組んでいる。田舎の魅力を経験する事業やセミナーの開催により、農村人口の減少や高齢化による集落の崩壊を食い止めることになり評価する。

#### 予算決算委員会

全19件のうち、14件を全員賛成、5件を賛成多数で可決

平成28年度舞鶴市一般会計補正予算（第7号）について、引揚記念館整備事業費は、国から地方創生拠点整備交付金の追加配分があったため、29年度予算で実施予定であった整備を前倒しするものであるなどの説明がありました。

討論において、賛成の立場から、今回の補正予算には引揚記念館整備事業に2億9千万円が計上されているが、舞鶴市特有の歴史・文化を魅力ある資源として活用する施策であり、将来に引き継いでいくためにも必要な事業であるなどの意見がありました。

次に、平成29年度舞鶴市一般会計予算では、質疑において、個人市民税が28年度と比較して4700万円減収となっている主な要因は、近年増加しているふるさと納税による控除額が、28年度は前年度の4倍となったことから、29年度も税額控除の増加を見込んだことによるものであること。

また、まちなか暮らし推進事業は、市が直接空き家を所有者から10年間を目途に無償で借り上げ、一定の改修を加えて、まちなかの移住・定住を促進するものであること。

保育士の処遇改善事業費補助金は、保育事務を委託する民間保育園の保育士などの賃金に対して補助するものであること。

不妊・不育治療給付費は、不育の治療において、基準に満たないなどで保険適用にならない場合は高額な負担が生じるため、保険適用外の部分について、新たに市独自の助成を行うも

本会議において付託された議案を5常任委員会において審査しました。  
経済消防委員会（付託議案4件）、民生環境委員会（9件）

## 常任委員会の審査報告

のであること。

海のDMO負担金について、海の京都DMOとして取り組むインバウンド事業は、台湾でのプロモーションや商談会への出展、メディアを対象としたファムトリップであること。

西地区浸水対策事業は、今後の予定として、30年度から本格的に事業に着手し、概ね15年間を事業期間としており、最初の10年間を第1期として、平成16年の台風23号と同程度の被害を想定し、高野川の右岸側は西舞鶴駅より北側、左岸側については、新大橋より北側のエリアにおける床上浸水の解消を目指すとしていること。

小中一貫教育推進事業においてコーディネーター役を担う指導主事は、モデル校が2校から4校となることにより、3人体制で対応していくこととしているなどの説明

明がありました。

討論において、反対の立場から、一般会計の総額が、昨年度より減少しているにもかかわらず、観光に偏重した予算であり、クルーズやポートセールス中心の港湾振興などに重点が置かれていることは、市政のあり方が問われるものであり、全庁的に、不要不急と思われるイベントや公共事業の見直しが必要であるとの意見。

一方、賛成の立場から、厳しい財政状況を踏まえた上で、経常経費の削減を図るとともに、建設地方債の発行を起債残高が総合計画の目標値である約200億円までに抑えつつ、これまでの取組実績を生かして、移住・定住の促進、子育て環境の充実、歴史・文化の振興、京都舞鶴港を活用した地域産業の振興など、戦略的、積極的に押し進める予算編成となつてい

ることを評価するなどの意見がありました。

### 経済消防委員会

#### 舞鶴市豊かな森を育てる基金を設置

舞鶴市豊かな森を育てる基金条例は、京都府豊かな森を育てる府民税を原資とした市町村交付金について、28年度の執行状況を踏まえ、残額を基金に積み立て平成29年度の事業の財源に充当できるように、基金を設置するものであるなどの説明がありました。

次に、舞鶴市働く場の創出企業立地促進条例の一部を改正する条例は、これまで補助金の対象となる区域を、工場立地法に基づく「工場適地等」としていたが、新規企業の立地候補場所の選択肢の拡大や、既存企業の規模拡大の促進による市外への流出防止の観点から、

「舞鶴市内全域」に広げるものであるなどの説明がありました。

質疑において、既存企業の工場適地等以外での増設に関する相談・要望も受けているなどの答弁がありました。

討論において、賛成の立場から、大きな金額の支援を行うものであり、若者の働く場となるよう努力いただき、地域が元気になることを願っているなどの意見がありました。

### 民生環境委員会

#### 国民健康保険条例を改正

舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例は、地方税法などの改正に伴い、保険料の所得割額などの算定基礎に係る所得の規定、及び国民健康保険法施行令の改正に準じ、保険料の軽減に係る所得判定基準を変更するなど、所要の改正を行う

ものであり、平成29年度分の保険料から適用するなどの説明がありました。

質疑において、地方税法の改正に伴う改正については、株式の譲渡所得が損益通算できるようになったものであり、保険料の増減は所得により異なるなどの答弁がありました。

次に、有本千壽子基金条例の一部を改正する条例は、基金の有効活用を図るため、私立幼稚園における幼児教育の質の向上に向けた事業に充てられるよう、基金の取崩しに係る規定を追加するなどの説明を受けました。

質疑において、28年度末の基金残高見込みは、1048万1538円であるが、29年度から拡充した私立幼稚園教育環境整備事業費への活用を考慮しており、寄付者の意思からも、乳幼児教育の質の向上

に向けた取り組みに充てていくことが有効活用になると考えるなどの答弁がありました。

次に、舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定は、介護保険施行令の一部改正に伴い、第1号被保険者の保険料段階の判定に所得を測る指標として用いる合計所得金額から、土地の売却収入などを所得として取り扱わないこととするため、長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除額を控除した額を用いることとする改正であり、当該高齢者の経済的負担が減ることなどから、この措置を1年早めて適応することとし、施行期日を平成29年4月1日とするなどの説明がありました。

質疑において、譲渡所得を控除することで、該当者の保険料は減額になるなどの答弁がありました。

2月27日、3月28日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。  
この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。  
この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

### 全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市特別会計条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市個人情報保護条例等の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市豊かな森を育てる基金条例制定について
- 舞鶴市働く場の創出企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市東地区中心市街地複合施設条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市工場立地法に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 有本千壽子基金条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市保健センター条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市養護老人ホーム設置条例を廃止する条例制定について
- 舞鶴市上下水道事業審議会条例制定について
- 舞鶴市駐車場基金条例制定について
- 舞鶴市道路占用料条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- 市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市水道事業給水条例の一部を改正する等の条例制定について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	亀井敏郎	田村優樹	松岡茂長	西村正之	議決をした日	
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無党派		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○		3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月28日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月28日
×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×		3月28日
×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		3月28日
																						3月28日	
×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	3月28日	

※「安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願」は、その請願内容が、「安定ヨウ素剤の希望者等への事前配布に関する請願」の請願内容に含まれるため、【みなし不採択】となりました。

# 議案の採決結果

(平成 29 年 3 月定例会)

会期：2月27日～3月28日

## 全会一致で可決した 予算議案

- 平成 29 年度舞鶴市水道事業会計予算
- 平成 29 年度舞鶴市簡易水道事業会計予算
- 平成 29 年度舞鶴市貯木事業会計予算
- 平成 29 年度舞鶴市下水道事業会計予算
- 平成 29 年度舞鶴市駐車場事業会計予算
- 平成 28 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 6 号）
- 平成 28 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 7 号）
- 平成 28 年度舞鶴市病院事業会計補正予算（第 2 号）
- 平成 28 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算（第 3 号）
- 平成 28 年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第 3 号）
- 平成 28 年度舞鶴市土地建物造成事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 28 年度舞鶴市下水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 平成 28 年度舞鶴市駐車場事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 28 年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 2 号）

## 全会一致で可決した その他の議案

- 専決処分の承認を求めることについて（市所有自動車の衝突事故に係る和解（専決第 1 号））
- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について
- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について
- 市道路線の認定及び変更について
- 副市長の選任について
- 監査委員の選任について
- 固定資産評価員の選任について



## 賛否が分かれた議案

議員名簿等（会派内は五十音順）		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	平成29年度舞鶴市一般会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	平成29年度舞鶴市病院事業会計予算	28	27	24	3	0	可	○	○	○	○	○	○
	平成29年度舞鶴市国民健康保険事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	平成29年度舞鶴市介護保険事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	平成29年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
請願	舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
	高浜原発の再稼働前に避難計画の実効性確保と住民説明会を求める請願	28	27	4	23	0	不	×	×	×	×	×	×
	安定ヨウ素剤の希望者等への事前配布に関する請願	28	27	8	19	0	不	×	×	×	×	×	×
議員提出議案	安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願						不						
特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律の廃止とカジノ推進の中止を求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×	×	×	×	

創政…創政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、鶴翔…鶴翔会議員団、無会派…会派に所属しない議員  
 ☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

本会議において付託された議案を5常任委員会において審査しました。  
建設委員会（付託議案7件）、総務文教委員会（10件）

# 常任委員会の審査報告 請願・意見書審査、6月定例会の予定

## 建設委員会

### 舞鶴市上下水道事業審議会を設置

舞鶴市上下水道事業審議会条例は、下水道事業についても下水道事業と同様に、その事業運営などに関する事項に係る審議を行うため、「舞鶴市上下水道事業審議会」を新たに設置するものであるなどの説明がありました。

質疑において、「上下水道事業審議会」の委員を新たに選任することとし、経営や技術に係る学識経験者や、利用者代表として自治会や商工業者、女性団体などに就任をお願いするほか、広く市民にも公募したいなどの答弁がありました。

次に、舞鶴市都市公園条例の一部を改正する条例は、西地区において整備を進めている施設について、名称を「西運動公園」として

## 総務文教委員会

### 「企画管理部」を廃止し、「市長公室」と「政策推進部」を新たに設置

舞鶴市都市公園に追加し、新たに整備する「人工芝グラウンド」や「多目的グラウンド」及び既存の「クレイテニスコート」を有料屋外運動施設に加え、使用料などの条項を規定するものであるなどの説明がありました。

質疑において、施設使用料については、施設の利用状況を想定した上で、市内の類似施設や近隣市の運動施設の使用料金を勘案して設定したこと。また、人工芝グラウンド及び多目的グラウンドについては、7月から供用開始する予定であるなどの答弁がありました。

討論において、賛成の立場から、人工芝グラウンドの整備については、関係団体の要望が実を結んだもので、今後、地域間の交流が促進され、大きなイベントなどが開催されることを期待するとの意見がありました。

舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例は、平成31年10月1日から消費税が引き上げられることに伴い、地域間の税源の偏在性に対応するため、法人住民税法人税割の税率を引き下げ、それに見合うよう国の地方法人税の税率を引き上げて、地方交付税の原資とする税制上の措置が講じられることから、本市の法人税割の税率について、制限税率8・4%を定めるなどの説明がありました。

質疑において、法人税割の税率が、12・1%から8・4%に引き下げとなった場合の本市への影響額については、28年度の予算額ベースで試算すると、約

8300万円の減収となる見込みであるなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、地方自治体の財源確保が難しい中、本市に入るべき税収が、地方交付税となつて必ず入ってくる確約もない条例改正には賛成しかねるとの意見。

一方、賛成の立場から、地方にも消費税が公平に分配されるよう望むものであるが、今回の条例改正は地域間の税源の偏在性に対応するものであるとの意見がありました。

次に、舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例は、市の「企画管理部」を廃止し、「市長公室」及び「政策推進部」を設置するものであり、効率的かつ効果的な組織運営を行うため、組織及び分掌事務を改めるもので、平成29年4月1日から施行するものであるなどの

説明がありました。

質疑において、市長公室の設置は、市長の指示事項を全庁に迅速かつ明確に伝達する政策主導の市政運営、各部の連絡調整を密接に行う横断的な組織運営により、政策推進機能の強化を図るものであるなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、市長公室、政策推進部の設置は、市長直轄の体制づくりをする意図があるとの

意見。

一方、賛成の立場から、市長の指示系統をより明確化し、各組織が市長の思いを受け、取り組める体制づくりであるとの意見がありました。



## 6月

## 6月 定例会予定

- 2日(金)本会議(開会)
- 8日(木)請願受理締切
- 13日(火)本会議(一般質問)
- 14日(水)本会議(一般質問、質疑)
- 15日(木)予算決算委員会分科会・常任委員会
- 16日(金)予算決算委員会分科会・常任委員会
- 22日(木)予算決算委員会
- 28日(水)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。